

金融市場NOW

米製造業景況感 悪化へ

2009年6月以来、およそ10年ぶりの低水準に

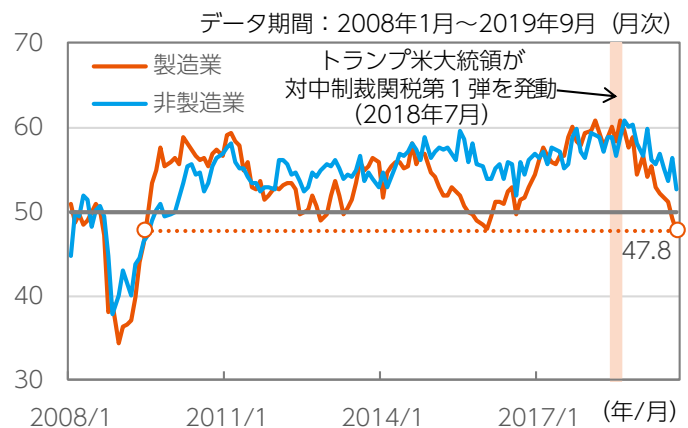
- ▶ 米供給管理協会（ISM）が公表した2019年9月の製造業景況感指数は47.8となり、景気拡大・縮小の節目となる50を2ヵ月連続で下回る。
- ▶ 製造業景況感の悪化は、米中貿易摩擦の影響を受けた輸出の低迷が主な要因。
- ▶ 今後の米国経済の下支えには、個人消費を中心とした内需の拡大が焦点となる。

ISMが10月1日に公表した2019年9月の製造業景況感指数は47.8となり、2ヵ月連続で景気拡大・縮小の節目となる50を下回りました（図表1）。事前の市場予想では50を回復するものとみられていましたが、予想を下回り約10年ぶりの低水準となっています。2017年末から減速基調であった欧州製造業の景況感、米中貿易摩擦の影響を受け悪化がさらに顕著となりましたが（図表2）、これまで相対的に堅調であった米国経済にもついに陰りが見え始めてきたようです。同指数は、米国景気の先行指標とされており、米連邦準備制度理事会（FRB）が金融政策の判断を行う際に重要視している指標の1つと言われていることから、引き続き動向が注目されます。

製造業景況感の悪化は、米中貿易摩擦の影響などを受けた輸出の低迷が主な要因とみられます。米国が対中制裁関税第1弾を発動した2018年7月以降、米国の輸出は低迷基調となっています（図表3）。米中両国は、10月2週目に閣僚級貿易協議を行う予定であり、両国が歩み寄る姿勢が見えつつあるものの、米国は15日に追加関税をさらに5%上乗せする見込みであり、米中貿易摩擦の終息までには時間を要するものとみられます。

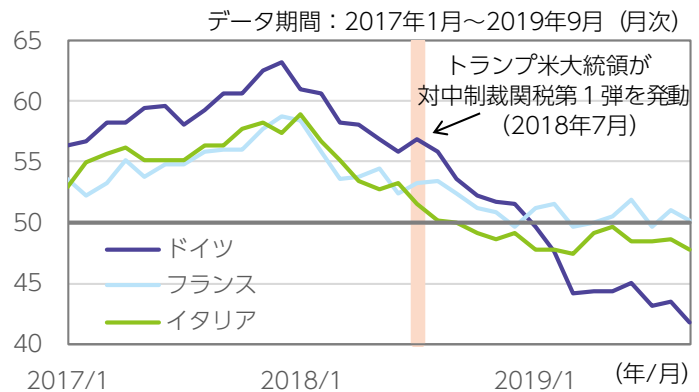
米中貿易摩擦の影響で外需に変調が見られているため、今後の米国経済の下支えには内需の拡大が焦点となりそうです。米国のGDP（国内総生産）のおよそ7割を占める個人消費は、小売売上高が小幅ながらも前年同月比で上昇しているなど堅調となっています。ただし、2017年末に成立したトランプ米政権による大型減税が一巡し、その効果が次第に剥落することが予想されるため、個人消費の動向については慎重に注視していく必要があります。

図表1：米製造業景況感指数は2ヵ月連続で50を下回る



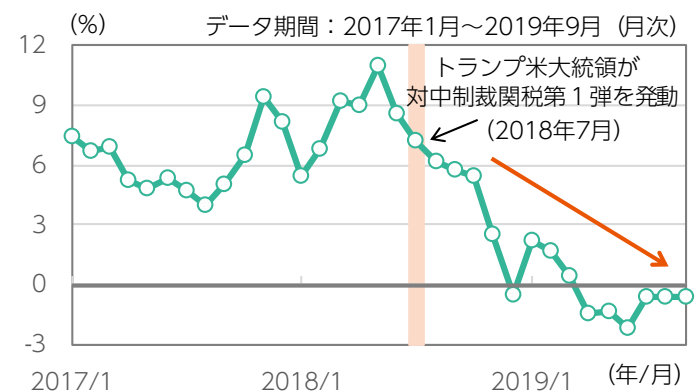
※ISM製造業・非製造業景況感指数の推移

図表2：欧州製造業の景況感の減速は米国よりも顕著



※ドイツ・フランス・イタリアの製造業PMI（購買担当者指数）の推移

図表3：米国の輸出は低迷基調をたどる



※米国輸出の推移（前年同月比）

出所) 図表1～3はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>